

R7 K I D' Sミニバスケットボール交流会競技規則

【 競 技 規 則 】

- ① 原則として日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則によって行う。
- ② 試合時間は、各クォーター5分、クォータータイム1分、ハーフタイム5分とし、4クォーター終了時点で同点の場合は引き分けとする。
- ③ 各クォーターのタイムアウト時に選手交代をすることができる。
- ④ 8名以上が必ず試合に出場すること。1人の選手が3クォーターを超えての出場はできない。
- ⑤ 試合球は人工皮革製5号球を使用し、各チームの持ち寄りとする。
- ⑥ ユニフォーム若しくはゲームシャツ（ナンバリング）を使用し、組み合わせ番号の若いチームを淡色とする。（濃淡のないチームがある場合は、対戦相手との協議によりユニフォームの色を変更しても構わない。ただし、ベンチはそのまま。）
- ⑦ 選手の人数が15人以上であってもベンチ入りはできるが、大人の人数は4人以下とする。指揮を執るコーチはコーチライセンスをネックストラップにつけ身に着けること。
- ⑧ 当日やむを得ない事情により、7人以下での構成となった場合は1Q・2Q・4Qを行い3Qは休憩のため無しとする。また、4年生以下であることを考慮し、安全に留意して試合を進行する。

【 未経験者・初心者に対する配慮について 】

- ① フリースロー際は、未経験者・初心者・低学年者において、正規のラインより前からフリースローを行っても構わない。
- ② ファウルはケガ防止のため、競技規則どおりの判定をする。
- ③ トラベリングは「3歩以上進む」「ドリブルの際に軸足が離れる」といった事象が起きても必ず成立とはしない。
- ④ ダブルドリブルは手の平が返った状態でのドリブルは基本的に“可”とし、初心者に見受けられる【ドリブル→キャッチ→ドリブル】はヴァイオレーションとする。
- ⑤ スローイン時のラインクロスはヴァイオレーションの判定はせず、指導をして再度スローインをさせる。
- ⑥ 制限区域内での3秒ヴァイオレーションのジャッジは行うが、審判の判断で初心者の選手に配慮（または指導）をする。

※ 原則としてディフェンスは、マンツーマン運用基準に基づいて行う。

但し、未経験者・初心者・低学年者についてはこの限りではない。

審判の判断で未経験者・初心者への配慮をお願いします。